

保護者の皆様

鶴岡市立羽黒小学校
校長 八渡 宗一郎

熱中症対策における学校としての対応について(お知らせ)

軽暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

標題の件につきまして、本校では、「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（環境省・文部科学省 令和6年4月追補版）」をもとに熱中症対策マニュアルを策定しております。

つきましては、保護者の皆様にご協力いただきたい内容をお知らせしますので、よろしくお願い申し上げます。

記

1: 暑さ指数と対応について

*教育活動について、当日の暑さ指数に基づき、原則的に下表のように対応します。

| 暑さ指数 (WBGT) | 注意すべき生活活動の目安(*1) | 日常生活における注意事項(*1) | 熱中症予防運動指針(*2) |
|-------------|-------------------|---|--|
| 31℃以上 | すべての生活活動でおこる危険性 | 高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。 | 運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。 |
| 28～31℃ | | 外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。 | 厳重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人*は運動を軽減または中止。 |
| 25～28℃ | 中等度以上の生活活動でおこる危険性 | 運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休憩を取り入れる。 | 警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。 |
| 21～25℃ | 強い生活活動でおこる危険性 | 一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。 | 注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。 |

2: ご理解・ご協力いただきたいこと

- (1) 水筒持参にご協力ください。6月以降の夏場については熱中症対策のため、水・お茶だけでなくスポーツドリンクも可能とします。生活習慣病やむし歯の原因にもなりますので濃さ等にはご注意ください。
- (2) ご家庭でも登校前や日常的な体調のご確認をお願いいたします。特に、休業明けなど体が暑さに慣れていない時期では、湿度等の状況で熱中症が発生しやすい場合があります。
- (3) 暑い日には帽子をかぶる、通気性・透湿性のよい服装にするなどの対策をお願い申し上げます。ネッククーラーの使用は登下校時のみとします。
- (4) 職員室とグラウンドに出る出入口に暑さ指数と対応についての表を掲示し、日々確認して活動します。当日の暑さ指数によっては運動及び屋外での活動を変更・中止します。その際、状況に応じて、安全と思われる時間帯に早退する等の対応を取ることがあります。また、警戒アラートが発表されていなくても、運動や行事等の教育活動の中止・延期・内容変更等の対応を取ることがあります。緊急メールを配信しますので、ご協力をお願い申し上げます。
- (5) 現在、マスク着用の有無については、本人等の判断となっておりますが、熱中症が心配される運動時や登下校の際には、マスクを外すなど熱中症事故防止にご協力お願い申し上げます。
- (6) 別紙にて、水泳学習に対する見守りボランティアを募集いたします。お忙しいところは存じますが、児童が安全に学習できるようご協力お願い申し上げます。